

平成30年度 駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

平成31年2月21日

- 1 こども園の教育目標 …… 明るく素直な子
- ・思いやりのある子
 - ・進んで運動や遊びに取り組む
 - ・自分で考え、のびのび表現できる子
- 2 本年度の重点目標 …… 夢中になって遊ぶ子
- 0歳児 安心して過ごす
 - 1歳児 生活リズムを心と体で覚える
 - 2歳児 安心できる環境の中で生活(遊び)に興味を示す
 - 満3歳児 園生活(遊び)を楽しむ
 - 年少児 友達と楽しく遊ぶ
 - 年中児 遊びに喜んで取り組む 友達と楽しく活動する
 - 年長児 進んで活動に取り組み、最後までやり通す
感じた事・考えた事を表現する

※評価点 A(十分に成果があった)・B(成果があった)・C(少し成果があった)・D(成果がなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員
		評価点	園としての反省と改善点	御意見
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.3	どこまで理解して保育できたか振り返りをしたり、職員間で再確認をしたりして共通理解をしていくことは必要と思う。	<p>昨今教師の多忙化が社会問題となっております。保育の現場におきましても同様です。保育士不足もこの問題が原因の一つかと思えます。よい保育をするにはやはりゆとりが大事だと思います。先生方自身のゆとりがなければ子どもたちへの対応も不十分になりがちです。悪循環にならないようその点を踏まえながら、教育・保育の計画や保育のあり方、子どもへの対応をお願いいたします。</p> <p>こども園になり行事が縮小されてしまうことを心配していましたが、それほど変わらずお泊り保育も継続してくださりありがとうございます。年齢・学年ごとに合った教育・保育を考えてくださっているのを感じました。</p> <p>綿密な計画のもと子どもたちへの支援・指導にあたっておられることがわかりました。</p> <p>新しい制度を理解しようとの努力が感じられて嬉しく思います。</p> <p>日々お忙しい中の保育要領の確認は大変だと思います。この一年保護者同士の会話で「こども園になったからね！」という言葉が何回もできました。そんなところから幼稚園からこども園に変わったんだなということを感じていました。</p>
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	2.5	認定こども園になり、目を通すようにはしているが、教育・保育要領を十分理解できていないので、今後も引き続き学んでいきたい。	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3	月案作成時には、話し合いをして計画を立てるようにしている。	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.2	年齢ごと、学年ごと、それぞれの子どもに合わせた計画を、学年の先生と話し合って作成している。	
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.2	その都度、その場で子どもたちの様子をみながら環境を変えたりしているが、まだまだ工夫が足りないのではないかと思う。	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	2.9	日々の保育の反省や園内研修の中で「10の姿」を意識した取り組みを心掛けてきたが、深く理解できていない面もある。	
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめている	3.6	すくすく部…視診はもちろんのこと、連絡ノートのチェック、保護者と朝、顔をあわせれば声をかけ様子を伺っている	<p>先生方のコメントにもあるように、子どもたちが忙しすぎる傾向にあるように思う。園では行事に向けての練習、帰宅後は習い事…という子どもも多い。もったのびのびと心を開放してどろんこになったり、絵の具だらけになったり、野山を駆け回ったりと子どもらしい笑顔でいられる時間を園が確保してあげることがこれからの時代のこども園に求められていると思う。</p> <p>すくすく部との交流が自分はお兄さん、お姉さんなのだ意識することにつながりとてもいいと思いました。</p> <p>各教室での先生方の子どもへの関わりが大変丁寧であり、それが子どもたちの落ち着いた様子に表れている。子どもの自由時間は多くあれば自発性が育つとも言われているがどうしても園内では時間の制約もあり両立が大変だと感じます。</p> <p>行事の内容が自由遊びへとつながっているのではないのでしょうか。確かに行事に追われている気もしますが、毎日何かに向かって生活していることは良いことだと思います。</p>
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.5	わくわく部…一人ひとりの思いを受け止めるよう努力はしている。個別指導計画も生かしていきたい。乳児部…年齢が低いほど自分の思いが強いので関わりができるよう声かけをしている	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	2.9	わくわく部…子どもたちが遊びこめるような自由遊びの時間の確保が今後の課題である。	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.3	すくすく部としての生活の流れがようやく落ち着きだしたので、来年度さらに幼児部との交流がもてるような計画をしていきたい。	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3	わくわく部とすくすく部とを把握しきれないが、それぞれの子どもたちのことは、職員間で話すよう努めている。	
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.1	すくすく部…複数担任となり、職員間で話すことも増え保護者と顔を毎日合わせることで、意識するようになっている。わくわく部…聞き流らしないようによく聞き、心配なときは、確認していきたい。	<p>どの先生も責任感が強く愛情深く子どもたちを見守ってくださっている印象。一方で先生によって差があるという印象もある。</p> <p>色々な行事等に参加させていただき教職員同士のまとまりを感じさせていただきました。体の異変にすぐ気づいてくださるのがすごいです。</p> <p>先生方がいつもニコニコして明るい雰囲気だと思います。</p>
	②子どもや、保護者との対応には、公平さやかかさずに平等に接している	3.6	どの子ども、どの保護者に対しても平等に、その方に合わせた対応を心がけている。	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.6	今後も保育上の安全面に十分配慮していきたい。	

(No. 2)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員
		評価点	園としての反省と改善点	御意見
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.3	幼児部と乳児部での生活リズムが違うため教職員間同士のコミュニケーションが十分とれていない。こどもたちの生活リズムも一年経ち把握してきたので、2年目以降の課題である。	職員間で保護者、園児とのコミュニケーション、情報の共有化と充実に努めてください。職員間の日々の意見交換によることが実務研修だと感じます。ぜひお願いします。年長の縄跳びの様子を拝見しました。たくさんとべてたくさんほめてもらい、子どもはとても嬉しそうでした。
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	小さな成長も、保育者間で報告しあい、喜びや成長を共有するようにしている。	
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.1	新聞やニュースなどに目をむけたり、自分で知識を増やしそれを子どもたちにも伝えていきたい。	
4. 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.5	気になることがあれば、その日のうちに伝えるようにしている。成長した姿などももっと積極的に伝えていきたい。	評価委員会内でも出たが、保護者間のコミュニケーションが不足していることも、アンケートQ13.17の結果の一因になっている様に感じる。保護者間、先生-保護者間の両方のコミュニケーションを円滑にするための方法を考える必要があるのでは。先生方の明るい元気の挨拶がとても印象的だ。顔を合わすと子どもたちの日常の報告をして下さることに感謝しています。外国籍の方たちともよく職員室で話しているのを見かけるので一生懸命対応しているのを感じます。小学校の課題とも合致している。HPへの掲載等、具体的な対応も検討していく必要はあるが、先生方の日々の取り組みを保護者にご理解していただくかが課題といえる。親御さんと会う時間が少ないとはいえず、職員の皆様がそれなりにご努力されていると感じました。園に行く機会が少ない方は、情報が少ないと思うのかなと思いました。親子降園の時も車で来る方を多く見かけるので、先生方とお話する時間があまりない方もいる気がします。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.2	謙虚さを大切に耳を傾け、正しい日本語で伝えられるように心がけている。引き続き気をつけていきたい。また、外国籍の方への対応も丁寧にしていきたい。	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.9	職員室内での、個人情報の取り扱いも十分注意していきたい。	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.9	上司・主任に連絡・報告・相談を意識している。また要望・意見に対しても報告・相談し早期の対処を心がけている。	
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えられることができる	2.6	園の教育目標を理解したうえで、説明ができるようにしていきたい。	地域との関わりがもう少し増えるといい。受け身ではなく積極的になっってはどうか。地域の力は案外強いものになると思う。私事ですが、子育て支援施設に携わっているのでもぜひ知っていただきたいと思います。町の催しにももう少し参加ができたら親同士の交流も増えるのではと思います。地域内に利用できる施設がほとんどなく残念です。敬老会での交遊等ご検討いただければと思います。子どもも親も行事を楽しみにしているので雨でなくなってしまうのは残念ですが仕方ない気がします。朝の登園の集合場所を通りかかった方のお話もよい地域交流になっていると思います。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.4	市の機関や民間の施設等もここ数年でも大きく変化しているので、もっと理解を深めていきたい。	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.4	地域開放や子育て支援については、まだまだ勉強不足である。	
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.2	ヒヤリハットの事例を園全体の職員が把握できるように、報告会を設けていく。	不審者対応訓練・消火訓練などを定期的の実施してください。虐待に関しても早期発見、早期対応をお願いしたいと思います。不審者情報があると即対応して下さるので安心して登園させることができました。子どもたちの大切な命を守るために十分な配慮と取り組みが必要。危険の時はどうゆうことか大声を出すこと。小さなけがをたくさんすること(ただし、親御さんの理解要)今年度から新しい園舎でも安心安全を考え造られているなあと感じました。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.2	子どもたち対象の避難訓練だけでなく、職員対象の不審者対応訓練、消火訓練など、もっと多く取り入れていきたい	
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3	自分を高められるように、今後も積極的に参加していきたい。	子どもたちが何事にも興味をもって活動ができるよう工夫をしてくださっていると思います。保・幼の研究を両立させていくことは大変難しいことといえるが、特別支援の観点からの研究等、子ども理解にかかる学びの充実を図っていきたい。職員全体の研修は大変困難ではないか。日々の意見交換の拡大で対応するのか、今後期待します。お時間が少ない中の研修も大変かと思いますが、今後も質の高い保育をよろしく願います。
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.2	園内研修ではできているので、日々の保育の中でもクラスや学年などで話し合える機会を作っていく。	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	自分の思いだけでなく相手の話にも耳を傾け解決していく。アドバイス等は保育に生かせるよう努力していきたい。	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心を持っている	2.9	趣味を持つことで自分のリフレッシュにもつながっていくので、時間を上手に使っていきたい。	

<こども園の教育・保育をより充実していくための御提言>

- ・行事の精選
- ・職員会議の持ち方
- ・わくわく部とすくすく部の交流